

事務事業チェックシート

事務事業No 142 事業名 騒音・振動防止事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	騒音規制法、振動規制法	
関連個別計画	和歌山市環境基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	中西 克之(435-1114)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	環境保全費		
	目	環境保全政策費		
	大事業	環境保全対策事業		
事項	騒音・振動・悪臭防止事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	騒音規制法・振動規制法及び和歌山県公害防止条例に基づき、生活環境に関する各種測定を実施し状況を把握することにより、騒音・振動を防止して良好な日常生活を維持する。	騒音規制法・振動規制法及び和歌山県公害防止条例に基づく届出等の受理。環境騒音測定の実施、阪和自動車道の騒音測定及び道路交通振動の測定を実施する。また、工場・事業場敷地境界における騒音・振動測定及び必要な指導を行うことにより騒音・振動を防止し良好な日常生活を維持する。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		環境騒音測定(17地点)の実施 阪和自動車道騒音測定(2地点)の実施 道路交通振動測定(22地点)の実施 工場・事業場敷地境界における騒音・振動測定(延べ87か所)の実施	環境騒音測定(17地点)の実施 阪和自動車道騒音測定(2地点)の実施 道路交通振動測定(8地点)の実施 工場・事業場敷地境界における騒音・振動測定(延べ87か所)の実施	環境騒音測定(18地点)の実施 阪和自動車道騒音測定(2地点)の実施 道路交通振動測定(8地点)の実施 工場・事業場敷地境界における騒音・振動測定(延べ87か所)の実施	環境騒音測定(17地点)の実施 阪和自動車道騒音測定(2地点)の実施 道路交通振動測定(8地点)の実施 工場・事業場敷地境界における騒音・振動測定(延べ72か所)の実施	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,166	3,070	4,557	2,045	2,609	2,015	2,011		2,011	
伸び率(%)	-	-	43.9%	▲33.4%	▲42.7%	▲1.5%	▲22.9%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	5,420	5,264	4,602	4,584	4,602	6,769	6,106	6,106	
	正規職員以外						1,668	2,050	2,050	
	小計	5,420	5,264	4,602	4,584	4,602	8,437	8,156	8,156	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	3,166	3,070	4,557	2,045	2,609	2,015	2,011		2,011	
所要人数(人)	正規職員	0.71	0.71	0.56	0.60	0.56	0.89	0.77	0.77	
	正規職員以外						0.76	0.76	0.76	
主な予算内訳	調査委託料1,620千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 環境騒音、阪和自動車道騒音及び道路交通振動測定実施地点数	件	目標値	41	27	28	27	
		実績値	41	27	28		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 工場事業場敷地境界延べ監視地点数	件	目標値	87	87	87	72	
		実績値	87	87	87		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 環境基準達成率(騒音)	%	目標値	95	95	95	95	
		実績値	94.1	94.1	86.1		
		達成度(%)	99.1%	99.1%	90.6%		
成果指標 工場・事業場等の規制基準遵守率(騒音・振動)	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託業務であり、現在の監視測定の地点数で引き続き適正な実態把握に努める
見直し・改善内容	